

## 1. 実施内容

(1) 対象者：全取締役・監査役

(2) 対象期間：2017年7月から2018年6月まで

(3) 概要：「取締役会の構成」、「取締役会の運営」、「株主との対話」に関する設問によるアンケートを実施、経営管理管掌役員が管轄する事務局が集計・分析を行い、その報告に基づき取締役会において評価を決定、取締役会の実効性向上に向けた改善策を協議・決定しました。

## 2. 分析・評価結果の概要

当社取締役会は、以下の理由から、全体として実効性が確保されていると評価しました。

### ・取締役会の構成：

概ね適切な人数・構成となっている。一方で、社外取締役の追加が継続的な課題。

### ・取締役会の運営：

開催頻度は最低月1回開催しており、審議時間も十分に確保されている。取締役会の議題は、グループとして審議すべき議題が適切に選定され、自由に発言できる雰囲気となっている。前回の評価で課題であった取締役のトレーニングについては研修実施により改善した。一方で、中長期的な経営計画に関しての議論については深化が必要な継続的な課題として認識している。

### ・株主との対話：

定期的に決算説明会や事業説明会を実施するなど、株主とのコミュニケーションの状況について十分な情報提供がなされている。

## 3. 分析・評価を踏まえた今後の対応

取締役会の実効性確保を継続していくとともに、挙げられた課題については改善を図り更なる実効性の向上に努めます。